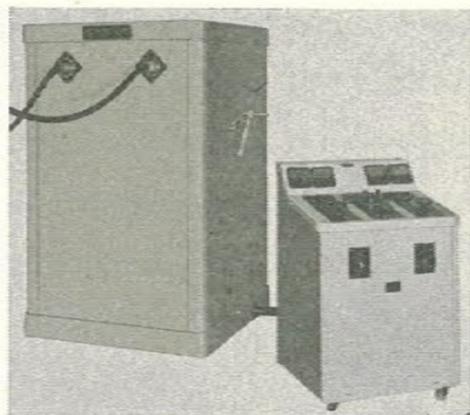


真空度のよいエック

ス線管の開発、放電回路に適切な保護抵抗のそう入、エックス線管の焦点温度測定による許容負荷の決定、これに基づく充電電圧に応じて放電電流を自動制御する方式を考案して、ここにエックス線管の破損問題を解決した。昭和25年（1950）には実用になるコンデンサ式エックス線装置清滝号



コンデンサ式  
エックス線装  
置清滝号

を発売した。